

曾於市の出来事
お届けします！



まちの話題

SOO City's TOPICS

SOO City
NEWS

曾於市をひとつに！ そお市民決起会が開催



2月28日、末吉総合センターで地域おこし協力隊主催の「そお市民決起会」が行われました。協力隊からの声掛けやSNSでの告知を見たという人が約60名集まり、3時間以上にわたり、各々の情報や想いを共有しました。

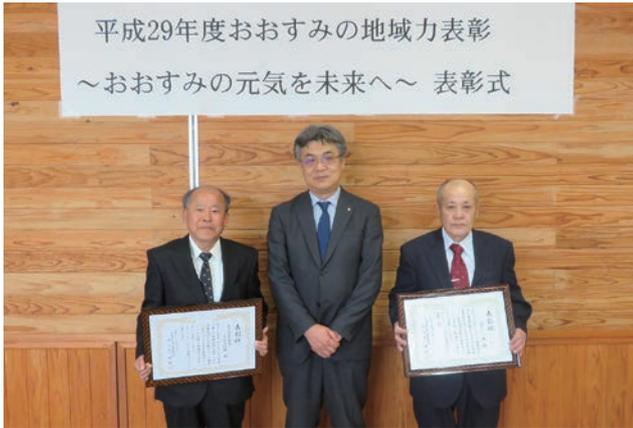
今回のイベントは、市報そおで連載している「実は隣のスゴイ人」を通して、協力隊の2人が「曾於市内にいるたくさん人のスゴイ人を集めて話をしたら色々なことができるのでは」と考えたことが始まり。課題に対して解決をする「会議」ではなく、その前の段階である、お互いを知り、想いをかためる「決起会」として開催しました。

当日は、財部町にある橋口製茶の橋口まゆさんが進行を担当。『最近の楽しみは？』『曾於市の良いところ（自分の居住地以外）』『曾於市をひとつにするならどんなイベントをする？』という3つのテーマについて、9グループにわかれ、話し合いました。

『曾於市の良いところ』は、「財部の人だったら大隅と末吉の良いところを褒める」というもので、「財部の山は整備されていてきれい」「大隅は美味しいお店が多い」など、地元の人ではなかなか気づけない話も出ていました。

『曾於市をひとつにするイベント』では、巨大なファーマーズマーケットや庭巡りクイズラリー、Soobar（そばイベント）や川でビーチバレー大会などユニークな案が出そろいました。

協力隊の2人は「高校生からご年配の人たちまで、世代を超えて曾於市のことを考えている人がたくさんいて本当にうれしい。今回で終わりにせず回数を重ねて、今度は夢を実現する会議をしたいと思います」と話しました。



3月6日、大隅地域振興局で「おおすみの地域力表彰」の表彰式が行われ、NPO法人そお文化村（理事長 児玉勝雄さん・写真左）と竹下一成さん（写真右）が受賞されました。

この表彰は、大隅地域において地域力の向上に貢献された方に贈られるものです。NPO法人そお文化村は、コンサートなどの文化イベント等を通じて、地域の活性化に尽力。竹下さんは、就農希望者の農家体験実習の受け入れや、新規就農者の育成に力を注ぎ、地域の農業振興に貢献されています。



2月17日から21日にかけて、第65回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。

4日目の郷土入りで日間優勝を目指す曾於チームは、1区で出遅れたものの徐々に順位を上げ、6区の増田悠大選手が区間賞を取る活躍で一時は3位に浮上。その後一つ順位を下げ、日間4位でゴールしました。大隅中継所では、旗を持った子どもたちが、力走する選手へ声を枯らしながら声援を贈っていました。

5日間を終え、総合順位は昨年と同じく8位でした。



2月24日、山中貞則顕彰館にて「山んなかマーケット」が行われました。このイベントは、「地元を知る。地元を食べる。地元を好きになる。」をテーマに、地域おこし協力隊が主催したものです。地元野菜のつかみ取りや100円茶屋、あくまきドラ焼きの販売などのほか、豚汁のふるまいなども行われました。ボランティアスタッフとして、曾於高校から有志が10名ほど参加。野菜の販売に立ち、地域の人たちとの交流を楽しんでいる様子でした。

この日は、吉井淳二記念展の開始日でもあり、体育館前で行われていた「ヨシイアートマルシェ」と合わせてくる人もみられ、200人以上が来場しました。

今回のイベントで初めて顕彰館に来たという人も多く、来場者の半数が顕彰館を見学していき、来場した親子は「知ることになって良かった」と話しました。